なんでもインフォ 2013.9

発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１－23　Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

これ、何の標識？～雪国の標識～

はじめに

あの暑い夏も過ぎ去り、秋風が感じられる今日この頃、秋祭りなど秋の行楽シーズンになりました。紅葉見学など、思わず脇見運転が増えそうな時期ですが、くれぐれも前を見て、安全なドライブを楽しんで下さい。安全といえば、「標識をしっかり見て、ルールを守る」ということは、運転免許を持っている人であれば、自動車学校で教えられたことと思います。

そこで今月号では、標識のなかでも自動車学校で習わなかった標識や、雪国ならではの標識について紹介します。

標識はだれが設置するの？

そもそも標識はだれが設置し、管理しているか御存知でしょうか？私は免許取りたての頃、標識はすべて警察が設置するものだと思っていました。今の仕事に就いて初めて、交通ルールに関する標識（違反をすると捕まる標識）は警察、案内標識や警戒標識（踏切ありや落石の恐れあり等、主に黄色の標識）は道路管理者（国、県、市町村等）だと言うことを知りました。

これ、何の標識？



自動車免許をお持ちの方なら、１度は勉強をしたことのある「標識」。でも、こんなの自動車学校で習わなかったなと思える標識もあるのではないでしょうか。右の写真は、高速道路上でよく見かける標識ですが、何を意味しているのか疑問に思ったことはありませんか。

これは、「投雪禁止区域指定標示板」と言われるもので、除雪のための業務用の標識であり、自動車学校でも教えていません。高速道路の下に、人家や交差する道路などがある場合、ロータリー除雪車がそこに雪を飛ばしてしまうと人がけがをしたり、物が壊れたりする恐れがあります。そこで、「ここは雪を投げ落としてはいけません。」とのマークとして設置されているものなのです。また業界では、四角い方を「グー」、十字の方を「パー」と呼び、二つ合わせて「グッパー標識」と呼んでいます。





雪国ではこんな標識も

雪国ならではの標識では、こんな物もあります。下の左側写真の、「下を向いた矢印」は何を意味しているのだろうと思ったことはありませんか？初めて見たとき私は、「矢印の下に、何かお宝でも埋まっているのだろうか」と思いました。残念ながらお宝ではなく、これも除雪のための業務用標識でした。通常、雪が降ると辺り一面真っ白となり、道路の位置が分からなくなるため、右側写真のような「スノーポール」と呼ばれる赤白の棒を目印に、除雪を行っています。しかし、このスノーポールすら隠れてしまうぐらいの豪雪地帯では、左側写真の矢印を目標に、除雪しているのです。





案内標識でも、雪国ならではの工夫が



普通に見かける右写真のような案内標識においても、雪対策が施されています。ひとつは、この標識に着雪しないよう、下向きに傾けて（10°程度）あるということ。さらに、着雪しにくい塗料等の使用や、ヒーティングされている標識もあります。たかが雪と言っても、塊となって落下すれば凶器と化してしまうことから、道路管理者にとっては厄介なものであります。岩手では少ないものの、日本海側の標識では屋根が付いているものもあり、地域によって様々な工夫が施されています。

おわりに

最近の信号はＬＥＤ化が進み、消費電力も少なく明るい物が増え、環境にも優しいことから、良い事だと思っていました。しかし、電球に比べて発熱量が少ないことから、信号に付着した雪が解けにくく、見えなくなる事もあり、新たな悩みとなっているそうです。除雪などに関わる皆さん、大変とは思いますが、よろしくお願いします。

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は、道路・河川・橋梁等の計画・設計、GIS、IT ソリューション等の業務を行っております。

”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください。

配布者

作成者：水沢支店
牧野　仁